

- 港湾区域認可 昭和28年2月25日
- 港湾区域告示 昭和38年6月11日
- 港湾区域面積 312ha
- 所在地 日向市

- 港湾区域認可 昭和28年2月25日
- 港湾区域告示 昭和28年3月13日
(変更) 昭和46年12月21日
- 港湾区域面積 264ha
- 所在地 宮崎市

神武天皇の御船出地 漁業活動の拠点

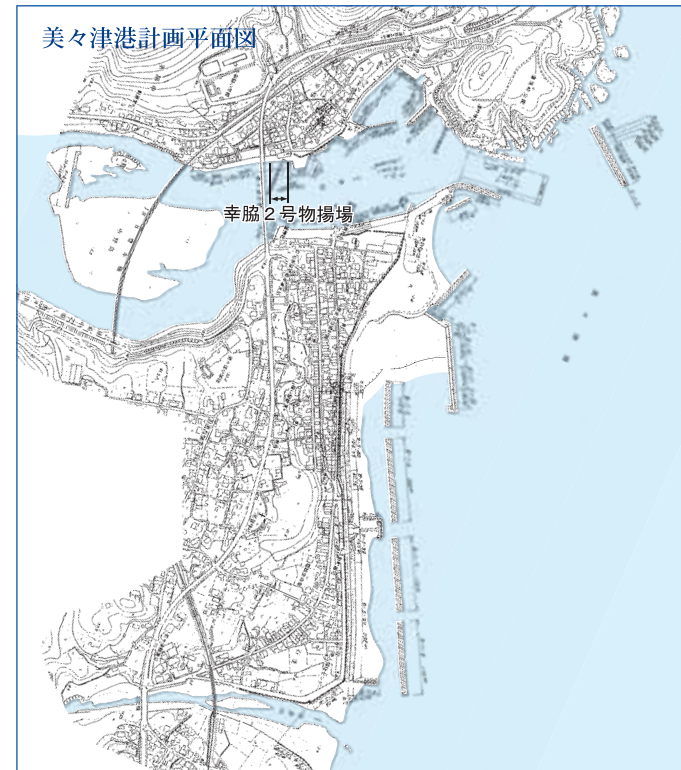
沿革

本港は、耳川河口に位置し、神武天皇の御船出地(日本海軍発祥地)伝説が残る港で、古くから耳川上流地域の木材や生活物資を運ぶ高瀬船、京阪神方面からの千石船が往来していたが、現在は漁業の基地としてこの地域において重要な役割を果たしている。

令和4年取扱施設

施設名(※1)	水深(m)	延長(m)	船型	取扱い貨物
幸脇2号物揚場	2.0	50	5(G/T)	水産品

(※1:統計上の施設名称である)



令和5年2月撮影

宮崎港の補完港

沿革

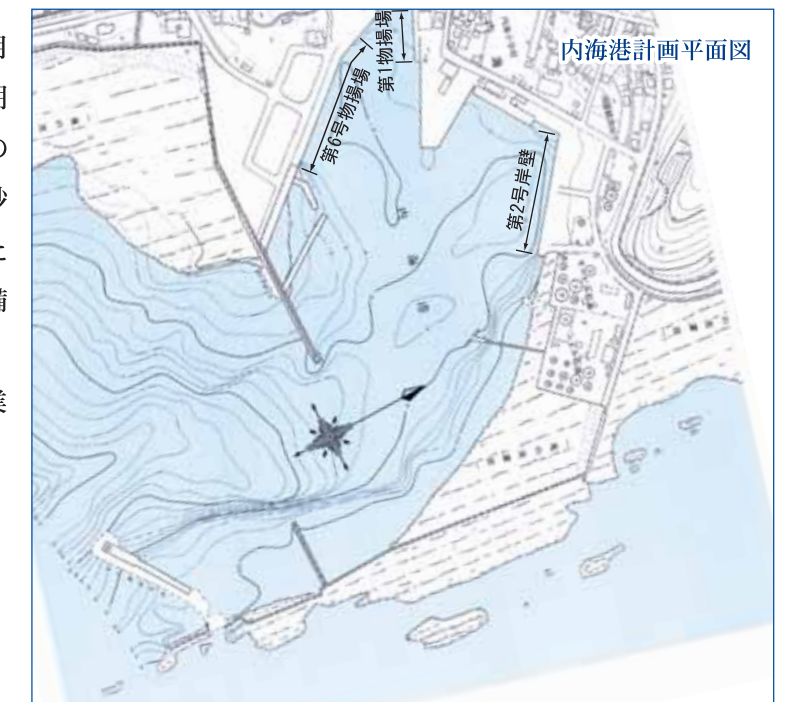
内海港は、古くより宮崎市の門戸として利用され、明治時代には大阪～鹿児島航路の定期寄港地となっていた。しかし、内海川からの砂の流入と外海からの波浪の侵入により港内に土砂が堆積し、船舶の出入りに支障をきたしていたため、大正時代に多額の費用を投じて整備された。

現在は、石油製品等の貨物の取扱いや漁業の基地として利用されている。

令和4年取扱施設

施設名(※1)	水深(m)	延長(m)	船型	取扱い貨物
第2号岸壁	5.0	165	1,000(G/T)	揮発油,その他の石油,セメント
第1号物揚場	2.0	124	—	水産品
第6号物揚場	4.0	232	600(D/W)	—

(※1:統計上の施設名称である)



令和3年11月撮影